



2019年6月26日

クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社

株式会社日立製作所

## クラリベイト・アナリティクス・ジャパンと日立、 海外特許文献の調査業務を効率化するサービスを販売開始

約 8,400 万件の要約された海外特許情報を提供し、企業の知財戦略立案を支援

学術情報・知的財産・ライフサイエンスに関する世界的な情報サービス企業である、クラリベイト・アナリティクスの日本法人クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社(APAC 統括マネージングディレクター:David Liu/以下、クラリベイト)と、株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、企業の海外事業戦略の立案に必要な海外特許文献の調査を効率化するサービスを共同開発し、業界シェアトップクラス<sup>\*1</sup>の実績を有する日立の特許情報提供サービス「Shareresearch (以下、シェアリサーチ)」のオプションサービスとして、6月26日から販売を開始します。

\*1 日本国内の特許出願数上位 500 社におけるシェア。日立調べ。

本サービスは、世界 59 の特許発行機関が発行する 30 言語以上にのぼる約 8,400 万件<sup>\*2</sup>の海外特許情報を高度に翻訳・要約した、クラリベイトの世界最大級<sup>\*3</sup>の高付加価値グローバル特許データベース「Derwent World Patents Index (以下、DWPI)」を、シェアリサーチ上で閲覧可能とし、膨大な海外特許文献の調査を効率化するものです。

\*2 2019年6月現在。クラリベイト調べ。パテントファミリー数:約 4,100 万件。

\*3 特許情報(59 特許発行機関+2 技術誌)を専門家が編集し、収録しているデータベースは DWPI のみ。

2 社のサービス提携により、シェアリサーチを導入している企業において、知的財産部門だけでなく、特許分野に精通していない研究開発部門も、読解が困難な海外特許文献の調査時に、高度に翻訳・要約した特許データを閲覧でき、効率的に海外特許文献を理解することが可能となります。また、DWPI のコンテンツと学術情報を搭載したクラリベイトのプラットフォームである「Derwent Innovation(DI)」も併せて利用するユーザーは、DI で検索・分析した結果を容易に取り込み、シェアリサーチ上で共有することが可能となるなど、企業全体の知財戦略立案に寄与します。

### 【共同開発の背景】

各企業では海外事業の進展に伴い、海外特許情報を分析した戦略立案を推進しています。一方、昨今の国際的な技術開発競争は激化し、中華人民共和国、ドイツ連邦共和国、東南アジア諸国連合など非英語圏から発行される海外特許文献が増加していることに伴い、調査量は 20~40%<sup>\*4</sup>増加しています。また、海外特許文献は、記載される言語が多岐に渡るほか、各国の記載ルールも異なるため、読解が非常に困難とされています。そのため、特許分野の専門知識や外国語の習熟度にかかわらず、効率的に海外特許文献の理解を支援する新しいサービスが求められています。

\*4 2018年2月~6月、日立調べ。

今回のサービス開始に先立ち、両社は、2018年11月に、知的財産分野の市場活性化を目的としたサービスの開発検討に向け協業を開始しました\*5。シェアリサーチのユーザーである、株式会社ブリヂストンや株式会社村田製作所においてプロトタイプ検証を進め、高度に翻訳・要約されたクラリベイトの海外特許情報の活用により、一定時間内に読解できる件数が約40パーセント増加するなど、効率的な海外特許文献の読解に寄与することを確認しました。また、三菱マテリアル株式会社をはじめ多くの企業において定性的な評価検証を実施しています。

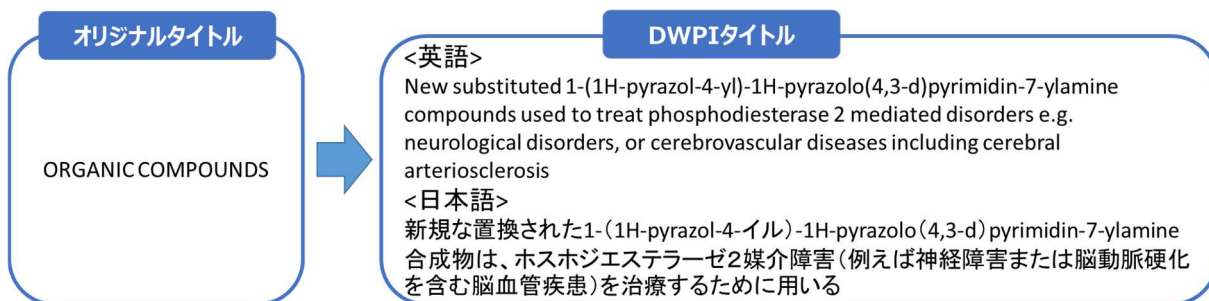
\*5 2018年11月5日ニュースリリース:「クラリベイト・アナリティクス・ジャパンと日立が知的財産分野の市場活性化を目的とした新サービスの開発検討に合意」<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2018/11/1105.html>

## 【新サービスの特長】

### (1)高度に要約・翻訳された海外特許文献による調査の効率化

特許調査時には、タイトルと抄録\*6から発明内容を推測し、当該特許を検索するものの、非英語圏も含む海外特許文献の特許調査時は、原文タイトルや抄録から発明内容を推測することは困難です。本サービスでは、DWPI から引用した翻訳されたタイトルと抄録が、英語や日本語で表示されることで、発明内容の推測を支援するほか、抄録は、新規性や用途、優位性といった項目別に要約可能なため、利用者は容易に発明内容を把握でき、海外特許文献の調査時における負荷低減を期待できます。

\*6 抄録:特許公報の要約など。



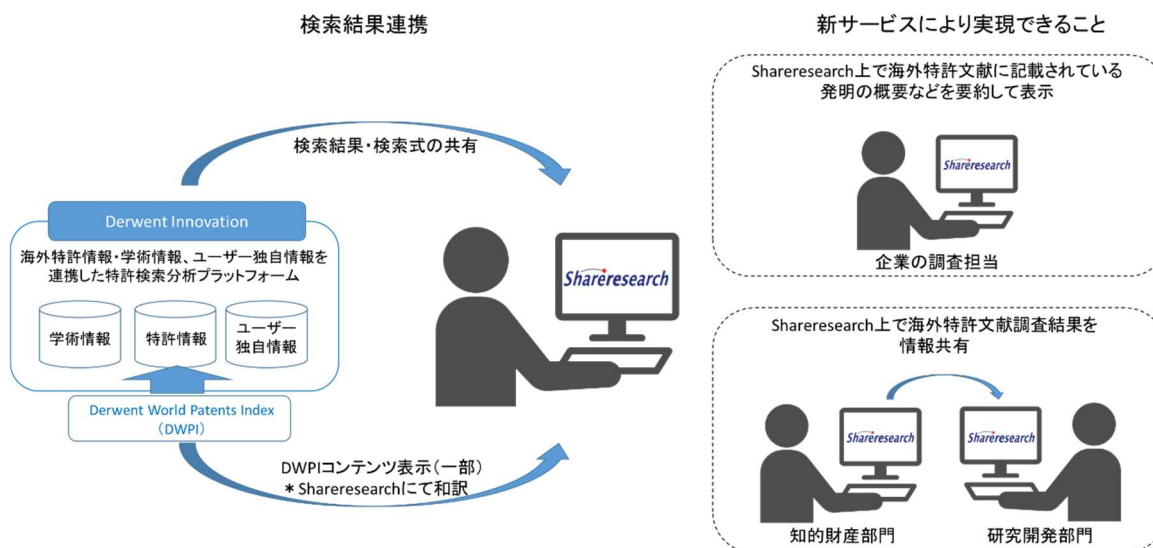
### (2)特許関連情報の社内共有で調査業務の分担を促進

シェアリサーチは、知的財産部門のほか、研究開発部門や営業部門などさまざまな部署において利用することで、知的財産分野に精通する社員の調査結果などを関係者間に迅速に共有し、読解作業を研究開発部門と分担するなど、業務の効率化を促進できます。さらに海外特許文献に加え、学術情報なども連携したより高度な調査が必要な際は、学術情報などのデータが格納されているクラリベイトのプラットフォーム「Derwent Innovation」の検索結果も、シェアリサーチ上で共有することで、より高度な調査を可能とします。

## 【今後の展望】

今後、クラリベイトと日立は、両社のノウハウや技術を融合し、企業のビジネス戦略を知的財産の観点から支援することで、知的財産分野市場のさらなる活性化をめざしていきます。

## ■ サービス概要図



## ■ 価格および提供開始時期

製品名	月額利用料(税抜)	提供開始時期
特許読解支援Derwent™ *7連携*8 (今回発表サービス)	18万円～	7月17日

\*7 Derwent™は、クラリベイトの商標です。

\*8 本サービスの利用には、シェアリサーチの導入が前提となります。

## ■ 「日立知財ソリューションセミナー」の紹介について

今回発表した新サービスは、2019年7月3日(水)および7月22日(月)に東京、7月9日(火)に大阪、7月12日(金)に名古屋で開催される「日立知財ソリューションセミナー」にてサービス内容を紹介します。

<https://www.hitachi.co.jp/app/tokkyo/event.html#semi>

## ■ クラリベイト・アナリティクスについて

クラリベイト・アナリティクスは、イノベーションを加速するために信頼性のある知見と分析を提供する世界的リーディングカンパニーです。過去150年にわたる事業継続を通じて、[Web of Science™](#)、[Cortellis™](#)、[Derwent™](#)、[CompuMark™](#)、[MarkMonitor®](#)、[Techstreet™](#)など、イノベーション・ライフサイクル全般にわたり信頼のある製品ブランドを築いてきました。これらの製品は科学と学術研究、特許調査と工業規格、商標およびドメインブランド保護、製薬およびバイオテクノロジーなどの分野で今日のイノベーションをサポートします。

現在、クラリベイト・アナリティクスは、起業家精神に基づく独立した新会社となり、お客様のアイデアをより速く革新的なイノベーションに変えていくためのソリューションを提供し、100カ国以上で事業を展開しています。 <https://clarivate.jp/>

## ■ クラリベイト・アナリティクスの特許分析・検索関連サービスについて

Derwent World Patents Index™(DWPI™)は、クラリベイト・アナリティクスの世界最大級の高付加価値グローバル特許データベースです。世界中で 900 名以上の技術と特許データに精通したチームが、年間 300 万件以上の特許発行に対して、付加価値のある DWPI のコンテンツを作成しています。この専門家により作成された独自の英文抄録と索引により、必要な特許情報を包括的かつ効率的に検索、把握、分析することができます。

Derwent Innovation(DI)は、グローバルな知的財産情報・学術情報を包括し、ユーザー独自の情報・調査結果も連携可能な、AI を活用した特許検索分析プラットフォームであり、知的財産におけるグローバルな戦略立案を可能にします。

<https://clarivate.jp/product-category/intelligence-and-services/>

## ■ 日立の特許情報提供サービス「Shareresearch」について

「シェアリサーチ」は、企業や研究機関などの知的財産部門や発明者などが Web ブラウザ上で国内外特許情報を効率的に検索・閲覧し、グローバルな特許情報を迅速かつ効率的に収集するためのサービスです。発明提案から権利維持まで一連の特許業務を一元管理する知的財産管理システム「PALNET/MC6(パルネット/エムシーシックス)」とともに、日立の知的財産本部のノウハウを活用して機能拡張を重ねています。

<https://www.hitachi.co.jp/app/tokkyo/sr/>

## ■ 商標に関する表示

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社

広報部 [担当:小原]

TEL:03-4589-3100 Email:marketing.jp@clarivate.com

IP ソリューション本部

TEL:03-4589-3101

<https://www.clarivate.jp/>

株式会社日立製作所公共システム営業統括本部

カスタマ・リレーションズセンタ [担当:猿田、西本]

〒140-8512 東京都品川区南大井六丁目 23 番 1 号 日立大森ビル

<https://www.hitachi.co.jp/pchannel-ing/>

■報道機関お問い合わせ先

クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社 広報部 [担当:小原]

TEL:03-4589-3100

Email:marketing.jp@clarivate.com

株式会社日立製作所 システム&サービスビジネス統括本部 広報部 [担当:佐賀野]

〒140-8572 東京都品川区南大井六丁目 27 番 18 号 日立大森第二別館

TEL: 03-5471-8900 (直通)

E-mail:koho@itg.hitachi.co.jp

以上